

## 5月19日：VN指数は小幅に3日続伸

VN指数は0.07%高の1,241.64ポイントで取引を終えた。投資家はボラタイルなマーケットに対して慎重な姿勢を崩しておらず、出来高はこの一週間で最も少なかった。

同指数は終日ほぼマイナス圏で推移したが、取引終盤にプラスに転じた。同指数は3日続伸となった。

ホーチミン市場の売買代金は7.55%減の12兆7,900億ドン（5億5,240万米ドル）となり、先月の一日当たりの平均売買代金である22兆3,000億ドンを下回った。

木曜日、アジアの主要市場は軟調だった。ダウ平均株価が2020年6月以来の大幅な下げとなったことを受けて、香港ハンセン株式指数-2.8%、日経平均株価指数-1.9%などが弱い動きとなった。

VN30指数は0.22%の1,283.55ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち18銘柄が下落、そのうちTPバンクは3.26%安と値下がり寄与度でトップとなった。ファットダット不動産-3.2%、ペトロリメックス-2.2%も売られ、それに続いた。

ヴィエティンバンク（CTG）-1.88%、ピナミルク（VNM）-1.85%も上昇は続かず、下げて引けた。

一方でVN30指数では8銘柄は上昇、マサングループ（MSN）+6.98%は3日連続でストップ高をつけた。またHDバンク（HDB）+1.25%、ペトロベトナムパワー+1.19%とそれぞれ買われた。

外国人投資家はホアファットグループ（HPG）、SSI証券（SSI）といった銘柄を中心に合わせて1,327億を売り越した。

ハノイ市場のHNX指数は1.82%安、UPCoM指数は0.16%安で取引を終えた。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。この二



ニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。